八上校区自治連合会通信

編集・発行
八上校区
自治連合会
http://yakami.org/
info@yakami.org

八上校区自治連合会
会長　山本恵三

皆さまにおかれましては、八上校区自治連合会の活動に理解ご協力いただき心から感謝申し上げます。

コロナ禍も3年が過ぎ感染状況がおさまって活動も例年に戻りつつあります。来年度は通常の活動が出来ようになると思います。

さて、ロシアがウクライナに侵攻してはや1年が過ぎ我々の生活も物価高騰と高熱費の負担増と脅かされています。

自治会館の維持費負担も増し、我々の活動にも影を落とすように思われます。自治会の最大の役目は安全・安心のまちづくりにあります。

皆さまに喜んでもらえるように各地区自治会と共に校区自治活動に尽力してまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

令和5年2月12日(日)
八上校区自主防災訓練

八上校区自主防災訓練は、校区6地区(小寺・菩提・東大饗・西大饗・北府住・南府住)合同で行いました。

白いタオル(布)の安否確認、本部との無線による安否確認の報告・連絡、炊き出し訓練等を行いました。特に無線での連絡は今回が初めてで、アンテナを立てたり事前に無線連絡の確認作業も数回行っていましたが、訓練当日はてこずった所もありました。

白いタオル(布)の安否確認は過去にも数回行っているので、どの地区も高い参加率があったようです。南府住では2か月に一度の清掃日の時に白いタオル(布)の安否確認をしているので非常に優秀な参加率となっています。まだまだこの数字に満足せずにもっともっと高めていきたいと考えています。

30年以内に発生する確率は70％から80％と、近い将来、必ず起きるとされている南海トラフ地震。

大阪府には約2時間で津波が到達し、最悪の場合、近畿では10万人に近い死者が出ると想定されています。自分や家族がよくいくところのハザードマップはしっかりと確認をして頭の中に入れておくことも大事だと思います。堺市の沿岸部では標高6・8メーター以上のところ、梅田界隈では新御堂の東側など所によってのハザードマップはパソコンやスマホで確認できます、実際に地震が発生した時にはパソコンやスマホは使えないと思っていたほうがいいので事前に確認をお願いいたします。

訓練は毎回同じようしていてもその都度新しい発見があります。

八上校区防災訓練要綱

◆ 日時 2月12日(日)雨天決行
午前8:00に震度5強の地震が発生したとの想定で訓練を実施いたします。

◆ 自主防災組織(役割分担表)から
1）八上校区自主防災組織の中から9時までに各地区1名八上小学校に集合する。
2）情報伝達訓練及び八上小学校避難所開設
3）各地区に山本会長から無線で情報確認を行う
4）行政への報告訓練

◆ 各地区では
1）全世帯の安否確認を行ってください。8:00～9:00
(集計して使用可能状態にしておく事)
2）無線機を使用可能状態にする。8:30～9:00
(山本会長から無線が入ったら状況などを報告)
3）テント設営 8:00～9:00
(介助が必要な方の避難受け入れ場所も設営する)
4）カンタントイレ設置
5）避難者受け入れ 9:30～ (参加者15名～20名位)
6）八上小学校に食料の引き取りに行く 9:30～
7）給食訓練 10:00～
(アルファ化米・汁物等各地区でくふう)

◆ 11:30訓練終了、その後各地区参加者で意見交換を行い、山本会長まで報告書を提出する。

小寺地区自治会

小寺地区は、2月12日(日)に防災訓練を実施しました。午前8時に大地震が発生した想定で、地区第一会館に対策本部を設置し地区長の指示の下、「災害マニュアル」どおりに訓練を行いました。自治会役員を中心に14名の参加がありました。

被害状況の確認、テントの設営、発電機の運転、無線連絡による被害状況報告。その他、八上小学校で救援物資の受け取り、炊き出しの準備・調理、備蓄食料と簡易トイレの準備等、それぞれ分担して訓練をスムーズに行うことができました。

終わってから参加者全員で炊き出しの豚汁と災害用非常食を試食し、反省会を行いました。小寺地区は高齢者世帯が多いため、地震発生後の安否確認と避難場所(集会所)への誘導が困難であることや、非常食などの備蓄場所・方法が今のままでよいのか等、様々な問題点が参加者から指摘されました。これらの課題は早急に対策を検討することになりました。

南海トラフ地震が近い将来に発生すると言われています。政府の地震調査委員会の発表によると、これから20年以内に発生する確率は60%と高くなっています。いつ地震が起こっても不思議ではありません。突然に発生します。地震発生と同時に停電と断水が起こることが予想されます。火災が起こるかもわかりません。ライフラインが止まった状態での住民の安否確認や怪我人の救助は困難を極めることになります。

2月6日にトルコ・シリア大地震が発生しました。5万人以上の犠牲者と今もたくさんの人が瓦礫下に取り残されています。テレビ映像を観ていると、私たちの国に近い将来起こる現実と重なり、体が震える恐怖を感じました。大地震が発生した時にかけがえのない命を守り被害を最小限に止めるためには、私たちが日ごろから防災についての強い意識を持ち、備えることが重要だと思います。

南府住地区自治会

八上校区防災訓練を2月12日(日)6地区一斉に行いました。

今回の訓練は地震で集会所(会館)の建物が倒壊し使用できないとの想定でテントを張り避難者の受け入れと、全世帯の安否確認(白いタオル運動)を実施するといった課題で行いました。

南府住では8時に月当番の方が担当組の安否確認を行って一時集合場所(各棟のエレベーターホール)に待機する棟長に報告する。

棟長は集計して一時避難所(集会所)の受付担当者に報告する。その後本部からの無線連絡が入ったら集計データを報告する。といった手順でおこないました。南府住では無線コードの部品不具合でトラブルが発生し本部との交信が出来ませんでしたが後に部品交換し、避難所では給食訓練として豚汁等(食材は区役所から提供)を作り食しました。

今後の課題として災害対策委員を増やす。

南府住は停電すると水は出ない、エレベーターは動かない。普段から水、食料等個人で確保しておく。

南府住自治会
2023/2/12 白いタオル運動掲示記録

	会員数	参加	参加率
2棟	93	71	76%
3棟	93	69	74%
4棟	62	41	66%
5棟	71	51	72%
6棟	128	76	59%
全体	447	308	69%

北府住地区自治会

北府住も令和5年2月12日(日)八上校区防災訓練に参加しました。

予定どおり8時のマイク放送から防災訓練がスタートしました。

北府住の集会所では区自治連合会の本部の会長の元に無線にて報告しました。1棟～9棟までの586世帯のうち、白いタオル運動の安否確認者は311世帯と、53%の世帯の安否確認がとれました。また、怪我人は出てないとの報告もありました。

各棟長からの報告をまとめ、八上校区から支給のテント・机・トイレ等々も、直ぐに、使用できるように設置する事ができました。炊き出し担当の方も、支給品のカセットコンロの、おかげでアルファ化米も、豚汁も大変美味しくいただく事が出来ました。地震などの被害を受けているときにあったかい食べ物は、こころが癒されることだと思います。

テントなどの設営トイレの設置又炊き出し訓練に参加してくれた皆様ご苦労様でした本当にありがとうございました。

タンスなどの家具又は電気関係の物が壊れたりの被害があった、との報告もありました。

西大饗地区自治会

コロナ禍における不自由な日常生活が常態化して3年。各人各様に知恵を絞っての耐乏生活を送られている事でしょう。隣人との触れ合い談笑の楽しみが少なくなっても、庶民のしたたかな生きるバイタリティは河内の民の真骨頂です。

2月12日校区一斉の防災訓練は、各組長会員の皆さんのご協力を得て、全世帯の65%の参加で、安否確認（白い布）が出来ました。

1回と言うこともあり、テント張りを含め炊き出しの準備仮設トイレ等、毎回小さなトラブルもあり、非日常の防災意識を個々人でも家庭でも話し合っておくことの大切さを痛感しました。

八上小学校の子ども見守り隊の皆さん、ご苦労様です。21名余の会員が参加し、自主的に健康を兼ねての子どもへの思いを重ねたり、献身の気持ちは尊いことです。区域内の防犯設備では、「カジテック」南側の路地通学路の東、十字交差点に防犯カメラを設置しました。この南北に通る道路は、利用する車が多く危険性を伝えられていて、安全回避の一助となりました。

公民館も柔軟に工夫して活用されています。てんとうむし体操、チューブ体操、カラオケ教室など、同好の会員が日頃のストレス解消に、運動不足を補うために、心身のリフレッシュを計っています。福祉委員会も公民館を有効に活用し、寿会と共に月々のふれあい喫茶&ビューローそして一人暮らしのふれあい昼食会、いきいきサロンでは「薩摩琵琶の集い」を開き好評を得ました。

子ども会は毎月の「廃品回収」の取組みを行い、夏と冬の「お楽しみ会」を企画して映画などの鑑賞、子どもの自立成長に力を注いでいます。空手教室は10名ほどのこどもたちが指導者のもと、公民館ホールで感染防止をしながら鍛錬しています。

地区内にある金岡神社（分祀）の不動産登記を済ませて、昨年12月より自治会管理となりました。城岸寺公園の桜はカミキリ虫にやられ、残念ですが伐採されました。

グランドゴルフ同好の楽しみは続けられています。

東大饗地区自治

防災対策本部

安否確認訓練

試食会

今回の訓練は南海トラフ地震で震度5強の地震が発生したとの想定で八上校区一斉の防災訓練を実施しました。

新型コロナ過を考慮し、午前8時より、地区防災委員、地区防災士、地区役員30名強の参加および各家々が安否を伝えるタオル掛けによる参加により行いました。

八上小学校に開設の校区防災本部のもと、被害状況報告など災害無線による情報確認を行い、八坂神社分館において、東大饗防災対策本部を開設し、テントの組立、簡易ベット、簡易トイレの設置および使用方法の確認を行い、炊き出し訓練では豚汁とアルファ化米の試食を行い、11時すぎに終了しました。

新型コロナ過の関係で少人数での訓練となりましたが、防災意識の向上を図るために、八上校区自主防災会と連携して防災訓練を実施します。

最後に、参加された皆様お疲れ様でした、次回もご協力お願いします。

菩提地区自治会

防災訓練と菩提公園いまだ、コロナ禍ではありますが、2月12日に校区一斉の防災訓練が行われました。

菩提地区においては、「安否確認、無線による情報伝達、屋外での炊き出し訓練等」が実施されました。

安否確認の方法としては、いつも白いタオル（布）を自宅の目立つ所に設置するというものです。地震災害の場合、白いタオル（布）は次の余震に備えて一旦は仕舞い込み、余震が起これば、再度、白いタオル（布）を出して安否の確認を行うようです。このことを知っている人は少なく、白いタオル（布）が出されたままになっていました。今後、白いタオル（布）を仕舞うという訓練も必要だと思いました。

無線による情報伝達においても、八上小学校に置かれた本部と各地区との連絡を行いましたが、屋外から無線を使用しないと無線が上手く機能しないことも分かりました。これは大きな収穫で今後に役立ててほしいものです。

菩提地区においては菩提公園2月3日完成を利用しての防災訓練と公園完成のお披露目会も同時に行いましたが、菩提地区の防災本部を会館に設定したため、わずか数10Mしか離れていない公園まで炊き出しの材料受け取り時間の変更の情報が伝わりませんでした。これもまた、菩提地区としての情報伝達の今後の課題であると思います。

菩提公園は防災のための公園で、かまどベンチ、マンホールトイレ、簡易避難建物が設置されていて、災害時には大いに役立つと思われます。少し気になることといえば、このようなすばらしい公園を心無い人がいたずらに扱って壊してしまうことです。いざ災害が起こった時に各施設が役に立たないようなことがないように大切にしてほしいものです。

防災訓練の後の菩提公園お披露目会では、自治会役員、子供会、シルバークラブ、福祉、菩提水利組合の協力により出店を出しました。地区の人に集まってもらい、公園の完成を祝いました。最後には、ビンゴ大会を行い、大いに盛り上がりました。

コロナ禍ではありましたが、みんなの笑顔を久しぶりに見ることが出来た大変有意義な一日でした。